

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼれっこ倶楽部		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 3日		2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年 3月 3日		2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合遊びを取り入れやすい環境づくりができて いる	ニッセイ財団から助成を受けて、スイングなどの設 置を行った	子どもたちそれぞれの感覚の特異性のアセスメント を意識して行い、得意・不得意に合わせたプログラ ムや環境の開発を行う
2	事業所の中のことだけではなく、生活についてや将 来についてを保護者と話し合うこと、必要な情報提 供を行うことができています	保護者が参加できる勉強会の開催や担当している相 談支援専門員との情報共有を行っている。必要に応 じて家族も参加して事例検討を行っている。	直接のやり取りでの情報共有が多くなってしまっ ているため、保護者が理解しやすい方法に合わせた情 報共有を意識していく
3	事業所の中だけでなく、外部との関り（アルバイト やボランティア、子ども発達のスーパーバイズを入 れるなど）が日常的にある	北海道社会福祉協議会からお誘いがあったため、大 学からの介護等体験事業を受け入れを行った。	来年度も引き続き介護等体験の受け入れやボラン ティアなどの受け入れを行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員それぞれの制度理解・障がい理解にばらつきが ある。	障害福祉サービス未経験の常勤も多く、事業所の中 のことを考えるだけで精一杯になってしまってい る。	職員それぞれが勉強できる機会を全体・個別それ ぞれで持っていく。またどんなことを学びたいか職員 それぞれの意向を確認していく。
2	建物内の死角の多さがあり、対応している児童以外 の動きが見えにくくなってしまっている。	建物の構造上難しさはあるが、職員がそれぞれの位 置や活動場所の工夫が足りていない場面も多い。	活動場所の変更や調整などを行い、職員の目が行き 届きにくい環境設定を行う
3	アルバイトやボランティアに対してのマネジメント 不足がある	マネジメントは児童発達支援管理責任者が行うこと が多く、他の職員にその意識や手腕がまだ身につい ていない	アルバイトやボランティアの受け入れを行った時に 職員それぞれがどう関わるか、どんな意図として受 け入れていくかなどの共通認識を持つ

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぼれっこ倶楽部

公表日 2026年3月19日

利用児童数 12名

2026年3月4日～3月13日

回収数 8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1	0	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6	0	0	2		支援プログラムはHP上の公表となっていますが、確認して頂くために今後は紙媒体でお届けさせていただきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	0	6		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	0	1		保護者参加ができる勉強会の開催やイベント時にはきょうだいの参加も可能としているタイミングはありますが、今後機会を増やすことを検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	1	実際に津波警報が発令され、避難したことがあったが、LINEで安全の報告があり、ありがたかったです。	津波警報時には利用確認等が遅れてしまった場面もあったため、今後に活かしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	1	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	0	0		

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ぼれっこ倶楽部				公表日 2026年 3月 19日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4		建物の構造上難しいが、死角になっていて危なく感じる場所が少し残っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎週念入りに掃除や整頓を行う時間を持っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	子どもの状態によって場所を変えたりすることができている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	必要に応じてミーティングで話し合うことができている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	全体ミーティングや個別でのやり取りを行い意見を伝え合う文化ができている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	外部SVによる勉強会を全体で受ける機会などがある		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2		活動の組み立ては児発管中心にスタッフが固定化されてしまっているため、今後はそれぞれが主体的に参加できるようにしていく。	

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせず放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団行動が難しい子に対しては個別活動を中心に場づくりを行うことができる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	直接行うことが難しい時には、LINEworksを活用して共有を行うこともある。	役割分担について、固定化されており、打ち合わせを行わずにいる時もある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	直接行うことが難しい時には、LINEworksを活用して共有を行うこともある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動内容やおやつの内容などハードル低く選択をする機会を日常に取り入れている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	基本的には児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		医療に関しては直接連携する機会は少ない
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	保護者同意のもと情報提供を行ったり、サービス担当者会議に参加している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	地域の児発センターからはSVを受けていないが、月に1度外部のSVを受ける機会を持っている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	法人内の自立援助ホームの子どもの関りは日常的にある。	地域の子どもと関わる機会は近隣の公園だけと限られている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3		事業所マップの情報提供や研修会には参加しているが、積極性はあまりない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	LINEを活用し気軽に連絡を取れるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	発達障がいについてや障害福祉サービスについて理解を深めるための研修を行うことはできている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	必要に応じて家庭に訪問して相談を受ける機会などがある	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	イベント時にはきょうだいの参加を受け入れる機会を提供しているが、これまでに参加してもらえたことはない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	現在、食物アレルギーがある子どもの利用がない	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			